

## 審 議 経 過

### 6 協議事項

(1) 第10次伊万里市交通安全計画の目標達成状況、及び交通安全対策の  
推進状況について

(事務局) 資料に基づき説明

※意見等なし

【承認】

(2) 第11次伊万里市交通安全計画について

(事務局) 資料に基づき説明

※意見等なし

【承認】

(3) 策定スケジュール(案)について

(事務局) 資料に基づき説明

※意見等なし

【承認】

### ● その他の意見

(委員A) 私の周りには高齢の方が多く、交通安全に関するチラシの回覧はよく回ってくるが見ていないという方が多くいる。また、そういった方に限って斜め横断など危ない行動をとられている。そういった中で、佐賀県の交通安全キャラクター「マニャー」を用いたCMは非常に作りがよく、回覧チラシを見ない高齢者の方も、夕食など家族団らんの時間にテレビで啓発CMを見ることが増えれば交通安全につながると思う。

(事務局) CMについては、佐賀県が作成しているもので今後もそちらでCM放送などに取り組まれると思う。市では高齢者を対象とした交通安全教室などを通して交通安全の啓発に取り組んでいきたい。

(委員B) 県内での人身事故が平成27年度あたりから急激に減ってきているが、何か要因などはあるのか。

(警察) それまで全国ワーストだったため、平成27年度あたりから佐賀県、佐賀県警を挙げて交通安全に関する取り組みを強化したことがあると考えている。また携帯電話の違反に関して厳罰化されたのも大きいと思う。

(委員C) 平成27年度から急激に減少したことにつながる取組について、何が効果があったかを確認し、それを次の計画でも継続していくことが大事だと感じている。例えば、平成29年度以降であれば交差点の路面に色を付けるブループロジェクトという県の取り組みもあるし、また、特に子どもたちを交通事故から守るため、現在3か年計画で交差点内への防護柵の設置に取り組んでいる。

(警察) マニャーという親しみやすい広告媒体を使ったことで、県民の交通安全に関する意識が変わったと認識している。そういった工夫が大事である。

(会長) 普段目にするなかで、横断歩道で車が止まれば子供たちは感謝し頭を下げているが、大人の場合は当然のような感じで渡っていることが多いと思う。その辺のマナーも大事かなと思うし、ドライバーも歩行者も気持ちよく生活できればと思う。また、伊万里駅前の信号機からマックスバリュー前の信号機までの間、車の出入りが多く危ないなと感じるし、そういう場所ということでパトカーもよく止まっている。

(委員D) 交通事故があったあとの指導や対応は取りやすい反面、事故が起きる前の対策は難しい面もあるができる限り取り組んでほしい。